２０２１年度ユース審判員派遣 in COOP 杯

青森県サッカー協会審判委員会

１．大会名　コープ杯争奪　ＡＯＦＡ第１２回青森県Ｕ－１０サッカー大会
２．主　管　（一社）青森県サッカー協会４種委員会
３．期　日　令和３年１２月１８日（土）
４．会　場　むつ市ウェルネスパーク しもきた克雪ドーム
５．参加者

ユース審判員

- 酒井　莉一　（サッカー３級）
- 関川　伽音　（サッカー３級）
- 菩提寺　俊甫（サッカー３級）

審判インストラクター

◆ 袴田　健（県審判委員会強化・指導育成部ユース担当）

６．競技規定（抜粋）

- 競技規則は（公財）日本サッカー協会「ＪＦＡ８人制競技規則」による。
- 試合時間は２４分（ハーフタイムのインターバルは５分）。ただし、競技時間内に勝敗が決しない場合、予選ラウンドは引き分けとする。順位トーナメントは６分間の延長（インターバル３分）を行い、なお決しない場合は３名によるＰＫ方式（インターバル２分以内）により勝者を決定する。
- 選手はエントリー８名以上１６名以内で、自由な交代。
- 大会期間中、警告を２回受けた者は、次の１試合に出場できない。退場を命じられた選手は次の１試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律・裁定委員会で決定する。

７．会場の様子

８．参加者レポート

- 酒井　莉一（サッカー３級ユース審判員）

今回は審判研修の機会をいただき、ありがとうございました。８人制１人審判は初めての経験でしたが、袴田インストラクターや多くの方々からアドバイスをいただき、自分の改善するべきポイントを見つけることが出来ました。私は選手と選手の接点が見えてないポジションにいることが多かったので、そこを改善し、公平なジャッジが出来る審判になれるよう努力していきます。今回学んだ経験を活かし、更にレベルアップしていきたいです。

● 関川　伽音（サッカー３級ユース審判員）

まず、コロナ禍の中でこの大会を開催し、私たちユース審判員を招いてくださいまして、ありがとうございます。沢山のベテランの方々にアドバイスを頂き、とても貴重な体験をさせて頂きました。

今回、初めて８人制一人審判を体験しました。実際にゲームを通して感じたことは、８人制サッカーならではの距離感と、展開の予測の難しさを感じました。また、自分の中でのファウルの基準をカテゴリー事に作っていかなければならないと感じました。私は女子や中学生男子の試合で主審を務めることが多く、この上記３つが全く別物で、とても難しかったです。

今回の経験を踏まえて、今後の審判活動に活かしていきたいと考えております。機会があれば、８人制一人審判にまたチャレンジ出来ればと思っております。とても貴重な時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

● 菩提寺　俊甫（サッカー３級ユース審判員）

今回の大会で２つの事を学びました。１つめは、次への予測をしっかりと行うことです。ボールのあるところしか集中しておらず、展開した時に遅れることが何回かありました。周りをみてどこにボールが出るか、走っている時も自分がどこにいれば見えるのか、どこにいれば選手たちが安全にプレーできるのかを考えるようにしたところ、改善されました。２つめは、審判は一人ではないということです。審判をする際にとても緊張していたので、周りの大人の審判員がたくさん話しかけてくれました。とても大きな支えになりましたし、みんなで頑張っていると実感しました。逆に、笛の強さやいらないところで笛を吹いてプレーを止めないという２つの課題がわかりました。それを克服するためにひたすら練習をして、もしここで止めたら何で再開するかなど、次の事を考えて笛を吹くように改善していきたいです。

今回の大会ではたくさんの方にお世話になりました。このような場を設けていただき、とてもありがたいです。これからも審判をする場があるので、一試合一試合成長して期待に応えれるように頑張ります。

◆ 袴田　健（審判インストラクター）

大会開催と運営に携わった皆様に心から敬意を表し、また今大会でユース審判員を温かく迎えて下さった４種委員会並びに出場チーム関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

今回は中学生・高校生の男女で、８人制１人審判を初めて経験する審判員、すでに何度か４種の県大会に参加経験がある審判員、他のカテゴリーでの審判経験が豊富にある審判員など、多様な属性や経験値の違いがあるバラエティに富んだユース審判員３名が参加しました。各ユース審判員が２試合ずつ主審を担当させて頂き、それぞれ課題に取り組みました。３名のユース審判員はいずれも担当する１試合目と２試合目では長足の進歩を見せ、若い審判員の貪欲な吸収力と成長する力に驚かされました。同大会に各地区から選抜されて参加している、主に４種カテゴリーで活躍している大人の審判員たちもユース審判員に次々と話しかけて下さり、「学び」とともに「審判仲間との交流」という審判活動のもう１つの楽しさも経験させて頂きました。

今回の活動を通して、参加したユース審判員が審判活動の喜びや難しさ、奥深さにふれることで、今後の彼らの審判活動のみならず、これからの人生に豊かな影響を与える機会となればと願っています。

９．補足

試合結果は、以下の Web ページに記載されています。そちらをご覧下さい。

● 結果　青森県サッカー協会４種委員会 http://www.aomori-fa.jp/